

# うだちから うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」やNPO団体などを紹介します。  
問 政策推進課 ☎82・3910/IP ☎88・9094



▲4年ぶりに開催した、桜まつり

## ①桜満開！「えがおでつなぐ」わくわくまつり

～大宇陀政始まち協～

4月1日、旧守道小学校運動場で、当まち協主催の「桜まつり」を4年ぶりに行いました。当日は天候にも恵まれ、地域の方々や親戚、お友だちなど260人あまりの参加がありました。  
会場に設営したテーブルでは、家族や友だち同士が集い、楽しいおしゃべりの花が咲きました。



▲風船で作った犬。可愛いな(^^)!

ゆつくりくつろいでいただけに、焼きそばやおでん、昨年のうだ産フェスタで大好評だった「政始よもぎホット」等を用意しました。  
また、ゲストにバルーンおぼさんが登場。みんなで一緒に脳トレ

## ②濡れ地蔵・桜まつりを開催!

～東榛原まち協～

4月9日、榛原ふれあい広場で濡れ地蔵・桜まつりを開催しました。市民の方に満開の桜を楽しんでもらいたいとの思いで、桜の開花にあわせて、3月下旬に提灯を取り付けました。この提灯は夕方から午後10時30分まで点灯し、多くの市民の方に夜桜見物を楽しんでいただきました。  
また、桜まつりでは今まで自粛していた舞台を再開し、和太鼓の演奏や子どもタップダンス、歌



▲高校生の名司会者

謡ショー、ビンゴゲーム等を実施しました。特に今回は、宇陀高校の学生5人に司会進行をしてもらい、とても楽しく舞台を盛り上げてもらいました。  
子どもたちには無料で綿菓子作りやヨーヨー釣りも実施。自分で作った綿菓子を持って「甘くておいしい」と嬉しそうにはにかむ子や、ヨーヨー釣りに目を輝かせている子もいて、暖かな春の一日を楽しむ家族連れの方など、500人近くの方にご来場いただきました。



▲自分たちで作った綿菓子

また、広場には山辺三の有志(五月会)が、今年もたくさんの鯉のぼりを揚げてくれてます。5月の端午の節句が終わるまで広場の空で皆の目を楽しませてくれる予定です。

## ③いなさの春祭り

～伊那佐地区まち協～

3月21日、旧伊那佐文化センター前の駐車場等で「いなさの春祭り」を実施しました。コロナ感染状況が少し落ち着き、各地で桜の開花情報が聞かれるなか、楽しいイベントを待ちわびていた地元の方が100人近く参加されました。



▲美味しい焼き芋、召し上がれ!

今回は高齢者から子どもまで家族で楽しめる内容で、伊那佐山登山、マルシェ、楽しい遊びや防犯

教室等も実施。また地元食材で作った大和当帰の薬膳スープや焼き芋、ぜんざい等を無料で振る舞いました。  
「温かくておいしい!」「伊那佐山を登った後だから、特に美味しい」など満開の枝垂れ梅の横で召し上がっていただきました。  
会場では焼きたてのパンや地元野菜、花のポットも販売し、売れ行きも好調でした。子どもたちも大勢集まり、奈良のしゃぼん玉に



▲しゃぼん玉に子どもたちも夢中!

大はしゃぎでした。子どもと一緒に参加したお母さんに話を聞くと「親子で楽しめました」「子どもた

ちも楽しめるこんなイベントが、またあると嬉しいです」と話していました。  
当まち協では、これからも地域の方の交流やにぎわいづくりを実施していく予定です。



薬  
草

## ウツボグサ

植物の多くは春から秋に茂り、冬は枯れるものですが、中には、このウツボグサのように秋から冬を経て春に茂り、初夏に花を咲かせて、夏には枯れるものもあります。そのため、ウツボグサの生薬名は夏枯草(かこそう)と言います。花穂を採集して乾燥し、薬用に使います。  
ちょうど今は花を咲かせるために、植物が充実している時期です。初夏に

なつて、紫色の花を穂状に付けると、誰でも見つけることができます。この穂状の花を米俵に例えて、この植物名をタワラグサと呼ぶ地方もあります。  
さて、このウツボグサは、リンパ液の流れを良くしてくれ、リンパ腺の炎症を鎮めてくれます。また、利尿作用が強いので、排尿後の残尿感がある方、排尿がスムーズでない人にも良い植物です。



薬草道遙(やくそうしやうよう) 毎回「薬草」に関する内容を連載でお届けするコラムです。

※当市で「薬草活用講演会」をしていただいた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

問 商工業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075